教育委員会事務の
点検および評価の報告書
【評価対象：令和5年度】

令和6年8月
草津市教育委員会

＜　目　　次　＞

Ⅰ　点検・評価制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（２）

１　趣　旨
２　点検・評価の対象
３　点検・評価の方法および評価指標
４　草津市教育委員会事務外部評価委員会

Ⅱ　「草津市教育振興基本計画（第３期）」の基本理念と施策の基本方向

１　基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（５）
２　施策の基本方向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（７）
３　第３期教育振興基本計画施策体系図・・・・・・・・・・・・・・（１１）

Ⅲ　教育委員会事務の点検・評価（評価対象：令和５年度）

評価シートの見方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（１２）

基本方向１　「子どもの生きる力を育む」
基本項目１「豊かな心と健やかな体の育成」・・・・・・・・・（１３）
基本項目２「確かな学力の育成」　・・・・・・・・・・・・・・（１７）

基本方向２　「学校の教育力を高める」
基本項目３「教職員の指導力の向上」・・・・・・・・・・・・・（１９）
基本項目４「学校経営の充実」・・・・・・・・・・・・・・・・・（２１）
基本項目５「教育環境の充実」・・・・・・・・・・・・・・・・・（２４）

基本方向３　「社会全体で学びを進める」
基本項目６「家庭・地域での学びの充実」・・・・・・・・・・（２６）
基本項目７「生涯学習・スポーツの充実」・・・・・・・・・・（２８）

基本方向４　「歴史と文化を守り育てる」
基本項目８「文化・芸術の振興」・・・・・・・・・・・・・・・（３１）
基本項目９「文化財の保存と活用」・・・・・・・・・・・・・・（３３）

Ⅰ　点検・評価制度

１　趣　旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条に基づき、教育委員会は、効果的な教育行政の推進と、市民への説明責任を果たすために、教育委員会事務の点検・評価を行い、その結果に関する報告書を公表することが義務付けられており、本市おいても、令和２年３月に策定した「草津市教育振興基本計画（第３期）」の進捗状況の確認を行うことも兼ねて、計画の施策体系に沿った点検・評価を実施しました。

今年度の点検・評価にあたっては、基本項目ごとに設定した成果指標に対する実績値および過去の外部評価委員会等の意見に対する対応の状況を中心に、草津市教育委員会事務外部評価委員会委員の意見、助言等をいただきながら、点検・評価を実施しました。

【 参 考 】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

２　点検・評価の対象

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に規定する教育委員会の権限に属する事務および市長から補助執行を受け教育委員会において実際に管理･執行している事務を点検･評価の対象とし、「草津市教育振興基本計画（第３期）」において掲げられた４つの「施策の基本方向」に対して、それぞれ位置づけた９つの基本項目（３４の基本施策を含む）について、点検・評価を実施しました。

３　点検・評価の方法

草津市教育振興基本計画（第３期）の９つの基本項目について、教育委員会事務局にて内部点検・評価を行った後、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の意見、助言をいただきました。

４　教育委員会事務局による内部点検・評価

①達成度評価について

草津市教育振興基本計画（第３期）において９つの基本項目ごとに、成果指標の目標達成度（下記②）や関連する事業の成果達成度（下記③）などを鑑み、教育委員会事務局で評価を行いました。

②成果指標の目標達成度について

９つの基本項目ごとに設定されている成果指標（全１８項目）のうち、目標値を達成できたのは６項目で全体の３３．３％となり、昨年度と同様でした。

●目標達成度の状況

目標達成度	項目数（Ｒ５）	割合（Ｒ５）
１００％以上	６	３３．３％
７５％以上　１００％未満	１１	６１．１％
５０％以上　７５％未満	１	５．６％
５０％未満	０	０％
計	１８	

③主要事業一覧について

９つの基本項目ごとに関連する主要事業の成果達成度を評価しました。評価は下記のとおり３段階で行っています。

（◎：期待を超える成果であった、○：期待どおりの成果であった
△：期待未満の成果であった）

なお、全ての主要事業について「○：期待どおりの成果であった」と評価しています。

●主要事業に対する達成度（自己評価）の状況

事業に対する達成度 （自己評価）	主要事業数	割合
「◎」期待を超える成果であった	０	０％
「○」期待どおりの成果であった	５７	１００％
「△」期待未満の成果であった	０	０％
計	５７	

【成果指標において目標達成度が５０％以上７５％未満の項目】

・基本項目６　家庭・地域での学びの充実

成果指標　　地域協働合校の推進に満足している市民の割合

達成度　　７３．３％　【目標】２２．５％　【実績値】１６．５％

原因　　「地域協働合校の推進に満足している市民の割合」について、「どちらでもない」と回答された方が、６割近くに上昇しており、活動を知らない人や関心がない層などが増加傾向にあると考えられる。

対策　　地域協働合校について転入者を中心に活動自体を知らない人の増加や、活動に関与している人の固定化などによる認知度の低下が考えられることから、今後、広報活動や地域人材の育成等に努める。

５　草津市教育委員会事務外部評価委員会

点検・評価の客観性・透明性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の意見、助言をいただきました。

①草津市教育委員会事務外部評価委員会委員（敬称略）

渡邊　暁彦　　（滋賀大学教授）

髙野　裕子　　（元公立小中学校長）

田川　祐子　　（公募市民）

②開催日時

令和６年７月３０日（火）　１３時３０分から

③主な意見・評価

総　評

・教育委員会は、産まれたばかりの子からお年寄りまで一生涯にわたって色々な事業をされていて、市民の人生に関わる大きな部署であると改めて感じた。子どもの健全な成長を目指して、引き続き様々な事業に取り組んでいただきたい。

・同じ事業を来年も行うなら、変化をつけることが大切である。現場を大切に、フットワーク・ネットワーク・チームワークを生かして日々の業務を行っていただきたい。夢と希望を持ち、将来の草津市を任せられるような子どもの育成をお願いしたい。

・目標値を上回っているとか、あるいはなかなか目標値に達しないとか、数値に一喜一憂するのではなく、市民の方々の多様な声に耳を傾け、今一度、基本項目が示す方向性や考え方に基づき、民間ではできない「行政」ならではの取組を意識していただきたい。

Ⅱ　草津市教育振興基本計画（第３期）の基本理念と施策の基本方向

１．基本理念

本市では、平成２２（２０１０）年３月に「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」を教育の基本理念と定めました。

この間、社会情勢の大きな変化に伴い、解決すべき課題が複雑化・多様化する中、施策の見直し・改善を続け、時代の先を行く教育の取組を進めてきました。

今後も、常に将来に目を向け、柔軟な発想と改革意識を持って取り組んでいく必要がありますが、本市教育が目指すべき姿と基本的な考え方は第３期においても変わるものではないと考え、基本理念は第１期、第２期を継承します。

基本理念

子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ

一人の人間として子どもに真摯に向き合うと、子どもの中に限りない可能性があることを信じる心が生まれます。その時、子どもの可能性を最大限に伸ばせるよう全力を尽くすことは、すべての大人の責務であるという思いにかられます。子どもたちが、伸び伸びと自分らしく成長し、その力を人のため社会のために思う存分に発揮する姿を思い描くと、本市の将来が輝いて見えてきます。未来に生きる子どもたちがはつらつとたくましく成長する姿は、家庭に幸福を与え、地域社会に希望をもたらします。

本市は、全国的に人口が減少する中においても人口増加を続けており、未来に向けて常に新しい変化を続けるまちです。どういう未来がやってくるかは、未来のために何をするか、そして子どもたちがどう育っていくかによって決まるといっても過言ではありません。教育に力を注ぐことは未来を創ることであり、「子どもが輝く教育のまち」を実現することは本市の重要な指標です。

また、本市は、古来から街道文化のまちとして栄え、人と人が出会う宿場町として発展してきました。近年においても、常に新しい転入者があり、多様な人々がともに暮らすまちとして新しい発展を続けています。本市はこうした草津の個性を生かしたまちづくりを進めていますが、教育振興においても、「出会い」と「多様性」を大切にすることが重要と考えます。

「出会い」は人との出会いだけでなく、心をゆさぶる読書体験や芸術体験、異文化に接

した驚きと感動、自然や生き物に接することによって知る命の尊さ、地域の歴史を知ることを通じた郷土への愛着心等、学びは出会いから始まるといっても過言ではありません。本市は、多様な人やものとの出会いを通して、豊かな学びを広げ、誰もが生きがいを感じられる「出会いと学びのまち」の実現を目指します。

本市の第５次総合計画では、「出会いが織りなすふるさと　“元気”と“うるおい”のあるまち　草津」を構想しています。本計画も、すべての子どもが輝き、誰もが豊かな「出会いと学び」を広げられる「教育のまち」づくりを通して、この構想の実現化を目指すものです。

この目標の実現に向けて、①教育委員会が中心となって、本市の教育を創造し、②開かれた行動する教育委員会として、保護者や地域住民の意向を十分把握しながら、積極的な教育改革を進め、③学校の教員と行政の職員が協働し、草津から教育を変えようという意識をもって、斬新な教育施策を実行していきます。

これらの決意のもと、学校、家庭、地域、行政の連帯を深めた取り組みにより、市民の誰もが誇りに思える「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」の実現を目指します。

２．　施策の基本方向

施策の基本方向は、基本理念の具現化にあたっての進むべき方向性と考え方を示しています。

第３期計画では、「１．子どもの生きる力を育む」「２．学校の教育力を高める」「３．社会全体で学びを進める」「４．歴史と文化を守り育てる」の４つを掲げ、この基本方向に対して９つの基本項目を設定しました。

さらに基本項目ごとに、３４の基本施策を定め、これらを体系的に取り組んでいきます。

基本方向１．子どもの生きる力を育む

施策の基本方向の第一は、「子どもの生きる力を育む」です。

子どもが、変化が激しいこれからの社会を生きていくためには、自分も他人も大切にする心を育成するとともに、長い人生をたくましく生き抜くための健康な体づくりの基礎を築いていくことや、確かな学力を身に付けることが必要です。また、子どもたち一人ひとりが、生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持って自らの人生を切り拓くことのできる生きる力を育むことを教育の基本と捉え、施策の基本方向の第一とします。

１．豊かな心と健やかな体の育成

人格形成の基礎が培われるといわれる乳幼児期からの育ちや学びが、その後の教育へと円滑につながるよう、子どもの発達段階や個々の状況に応じて、学校、家庭、地域、行政が互いに連携・協力した取組を実施し、豊かな情操や自己肯定感、規範意識、社会性などを身につけ、多様な人とつながることのできる豊かな心を育むとともに、生涯にわたってたくましく生きるための健やかな体の育成を目指します。

２．確かな学力の育成

自ら学び、考え、行動する力を身に付け、多様で変化の激しい社会を生き抜く確かな学力の育成を目指し、草津市独自の学力向上策に取り組みます。また、学校では、各校の学力向上策を踏まえた取組に加え、ＩＣＴ機器の効果的活用や検定事業、英語教育や読書活動等を推進し、子どもが主体となって、周囲と協働し学びを深める取組を推進します。また、家庭学習習慣の定着や学び方を身に付けるための支援等を通して、新しい時代を生きていくために必要となる基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。

基本方向２．学校の教育力を高める

施策の基本方向の第二は、「学校の教育力を高める」です。

学校は、学齢期のすべての子どもの教育を担っています。子どもが安心して学校生活を過ごすための教育環境と指導・支援体制の充実を図ることは、子どもの生きる力を育成することにつながります。また、地域や家庭から信頼される学校づくりを進め、地域・家庭との連携を強化することは、社会全体での教育の推進にもつながります。本市の教育施策を推し進めるうえで非常に重要となる学校の教育力の向上に今後も一層努めていきます。

３．教職員の指導力の向上

教職員の研修プログラムや研究活動の充実に取り組み、よりよい授業が行えるよう教職員の指導力の向上を目指します。また、そのために必要となる時間の確保と有効な活用ができるよう、教職員の健康管理や働き方改革に取り組み、職場環境の改善も目指していきます。

４．学校経営の充実

特色ある教育課程の実施や、地域の活力を生かした取組を推進することで、学校経営の充実を目指します。また、様々な教育課題に対応していくために、教職員の指導体制や学校を支援する体制の充実を図ります。

５．教育環境の充実

安全・安心な学校環境を確保するため、老朽校舎の改修や非構造部材の耐震化等の施設整備を進めるとともに、学習教材等の充実を進めることで、教育力向上につながる環境整備の充実を目指します。

基本方向３．社会全体で学びを進める

施策の基本方向の第三は、「社会全体で学びを進める」です。

家庭環境の多様化やコミュニティが希薄化する中、子どもが豊かな社会性を身に付けるために、また、子どもと大人が共に学んでいくためにも、家庭や地域での教育力の向上が求められています。また、人生１００年時代においてすべての人が豊かに生きていくために、地域での学習やスポーツ活動を通して、生涯にわたって学び、活躍し続けられるまちを目指します。

６．家庭・地域での学びの充実

子どもを育てる基礎となる家庭での教育について、保護者に対する情報提供や学習機会を充実させるなどの取組を進めます。また、地域協働合校の推進などにより、地域の大人が子どもの学びを支えるとともに、大人にとってもやりがいのある交流の機会となるようにします。

７．生涯学習・スポーツの充実

誰もが、生涯にわたって、いつでも、どこでも学び、子どもの教育や地域の活動において、成果を生かすことができるような生涯学習機会の充実を図ります。また、スポーツを身近に感じ、楽しめるよう生涯スポーツや競技スポーツに関する取組の充実を目指すとともに、※令和７（２０２５）年開催予定の第７９回国民スポーツ大会および第２４回全国障害者スポーツ大会に向けた取組を推進します。

※計画時から変更　令和６（２０２４）年開催予定→令和７（２０２５）年開催予定

基本方向４．歴史と文化を守り育てる

施策の基本方向の第四は、「歴史と文化を守り育てる」です。

本市の歴史は古く、数多くの貴重な文化財を含む歴史文化が現在に受け継がれています。地域に息づく歴史文化の価値や魅力をより広く、わかりやすく伝え、地域の暮らしと一体的な資産として保存・活用するとともに、誰もが文化・芸術活動に親しむことで、感性や創造性を育み、豊かに暮らしていくことができるまちを目指します。

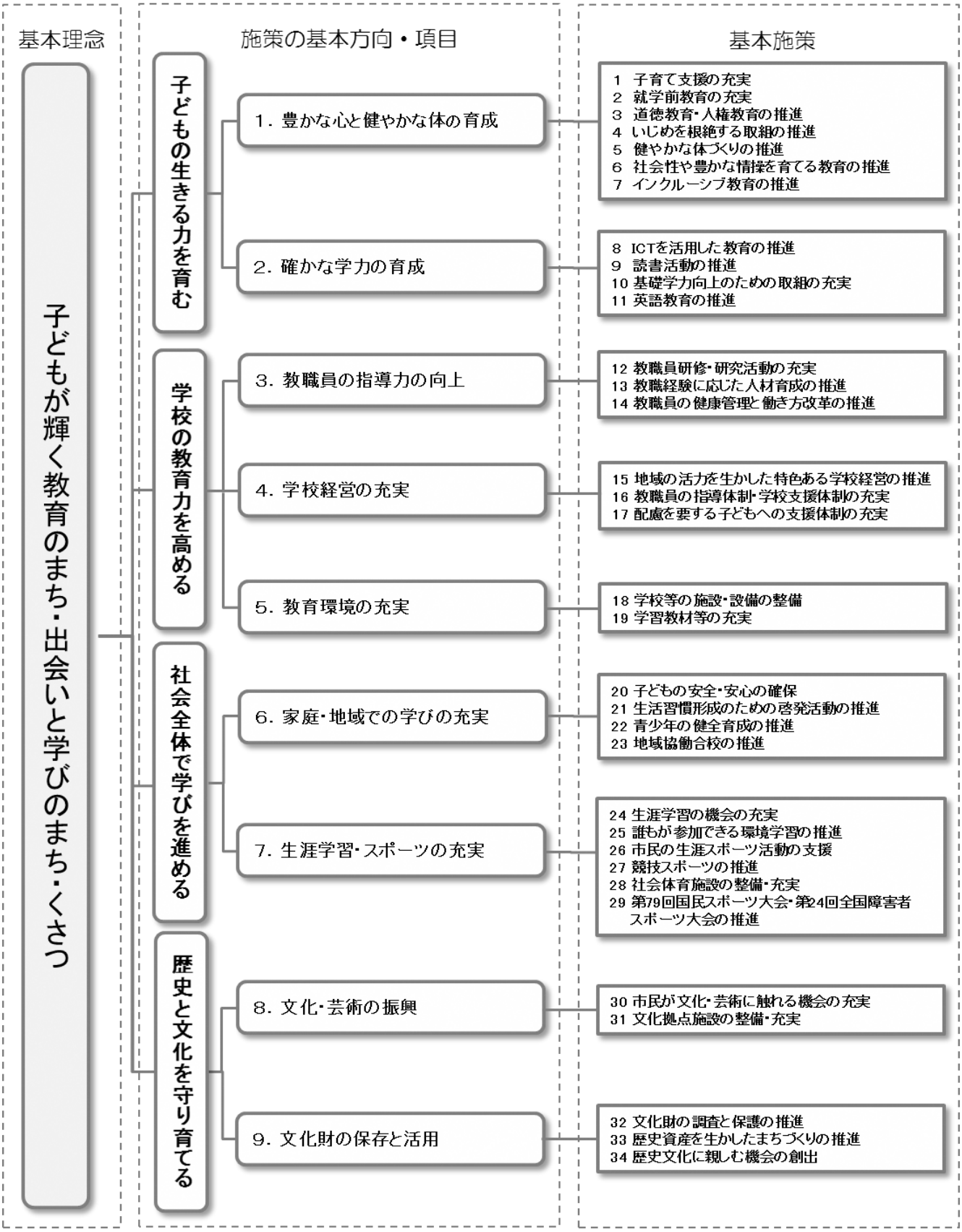
８．文化・芸術の振興

文化・芸術活動の支援と各種事業の充実や、担い手の育成支援を通して、誰もが文化に触れることができる機会の充実を目指します。また、文化の力によって都市の魅力を高めることを目指します。

９．文化財の保存と活用

本市の歴史文化の特徴を後世に守り伝えるため、適切な保存を図るとともに、市民が地域の歴史に触れる機会づくりに努め、地域主体による保存・活用の機運の向上や歴史文化を活用した草津らしいまちづくりを目指します。

３. 第３期教育振興基本計画施策体系図



Ⅲ　教育委員会事務の点検・評価（評価対象：令和５年度）

○評価シートの見方について

基本方向	2. 学校の教育力を高める
基本項目	5. 教育環境の充実
概　要	安全・安心な学校環境を確保するため、老朽校舎の改修や非構造部材の耐震化等の施設整備を進めるとともに、学習教材等の充実を進めることで、教育力向上につながる環境整備の充実をめざします。

教育振興基本計画における概要を記載します。
（基本項目（全9項目）ごと）

■成果指標の目標と実績

成果指標①	非構造部材						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0
実績値	55.0	65.0	65.0	65.0	70.0		

基本項目ごとに紐づいた成果指標の目標値と実績値を記載します。

■達成度評価

計画どおり工事を実施し、非構造部材の耐震対策

成果指標や各施策の達成度（下記）などから、教育委員会事務局にて達成度評価（内部評価）を行っています。

■基本項目に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
小学校大規模改造事業【施策18】	教育総務課	○	計画どおり校舎やグラウンドの改修を実施することができたため。
中学校大規模改造事業【施策18】			め。
校務情報化推進事業【施策19】			シ効率

教育委員会事務局にて主要と考える事業を抽出し、達成度評価を行いました。
成果達成度：◎…期待を超える成果があった
○…期待どおりの成果があった
△…期待未満の成果であった

※主要事業欄に記載されている数字【施策●】は教育振興基本計画における施策番号です（全34施策）

■基本項目に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校管理運営事業 【施策18】	教育総務課
小学校施設維持管理事業 【施策18】	教育総務課
中学校管理運営事業 【施策18】	教育総務課
中学校施設維持管理事業 【施策18】	教育総務課
小学校教育教材整備事業 【施策19】	
中学校教育教材整備事業 【施策19】	

基本項目に関連する主要事業以外の事業の一覧です。

基本方向１「子どもの生きる力を育む」

基本方向	１．子どもの生きる力を育む
基本項目	１．豊かな心と健やかな体の育成
概　　要	人格形成の基礎が培われるといわれる乳幼児期からの育ちや学びが、その後の教育へと円滑につながるよう、子どもの発達段階や個々の状況に応じて、学校、家庭、地域、行政が互いに連携・協力した取組を実施し、豊かな情操や自己肯定感、規範意識、社会性などを身につけ、多様な人とつながることのできる豊かな心を育むとともに、生涯にわたってたくましく生きるための健やかな体の育成をめざします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	「自分によいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合（％） 【全国学力・学習状況調査（対象：小学6年生、中学3年生）】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値（小6）	—	—	83.5	84.0	84.5	85.0	85.5
実績値（小6）	86.5	80.3	78.5	79.6	81.1	82.8	
目標値（中3）	—	—	73.5	74.0	74.5	75.0	75.5
実績値（中3）	75.6	71.8	76.1	75.0	74.5	74.7	

成果指標②	「運動やスポーツをすることは好き」と答えた児童生徒の割合（％） 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査（対象：小学5年生、中学2年生）】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値（小5男）	—	—	72.5	73.0	73.5	74.0	74.5
実績値（小5男）	75.2	69.3	70.5	68.3	65.8	73.3	
目標値（小5女）	—	—	52.9	53.5	54.2	54.8	55.5
実績値（小5女）	51.6	52.7	47.2	49.0	51.3	49.6	
目標値（中2男）	—	—	62.3	62.6	62.9	63.2	63.5
実績値（中2男）	61.7	66.6	66.1	58.8	61.2	59.7	
目標値（中2女）	—	—	44.9	45.5	46.2	46.8	47.5
実績値（中2女）	43.6	48.5	44.5	42.7	42.4	34.0	

■達成度評価

発達障害等特別な教育支援を必要とする子どもの増加に伴い、インクルーシブサポーターの配置や医療的ケアが必要な児童のため看護師を配置するなど、特別支援教育の充実を図り、よりきめ細かい支援を行うことができた。児童生徒の体力向上、スポーツ傷害予防を目的とした小中学校体力向上プロジェクトでは、「運動が好き」「体育が楽しい」という気持ちを伸ばすため、学校体育の充実を図ることができた。

■施策に含まれる主要事業一覧

番号	主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
1	施設等利用給付事業 【施策1】	幼児課	○	認可外保育施設等の無償化対象者への給付を円滑に行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができたため。
2	幼稚園・認定こども園ステップアップ推進事業 【施策2】	幼児課	○	地域の特色や人材を活かして認定こども園の教育・保育内容の充実を図ることができたため。
3	就学前教育サポート事業 【施策2】	幼児課	○	保育カウンセラーと保育者が応答的なやりとりの中で子どもや保護者への支援について検討し、保育の質の向上を図ることができたため。
4	認定こども園管理運営事業 【施策2】	幼児施設課	○	公立幼稚園型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。
5	人権・同和教育研究大会開催事業 【施策3】	児童生徒支援課	○	「草津市人権・同和教育研究大会」を参集により開催（本会場、サテライト会場含む）したことで、多くの市民が人権問題について考え、意見を交流する機会を持つことができたため。
6	生徒指導推進事業 【施策4】	児童生徒支援課	○	「草津市いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめの早期発見へのアドバイスや教育委員会としての体制づくりについて助言を受け、関係機関との連携を図ることで、児童生徒対応、保護者対応を迅速に進めることができたため。
7	中学校体育推進事業 【施策5】	学校教育課	○	スポーツ傷害予防講習会、運動部活動支援に取り組み、学校体育の充実を図ることができたため。
8	小学校体育推進事業 【施策5】	学校教育課	○	スポーツ体験教室「レッツエンジョイスポーツ２０２３」、「なわとびチャレンジKUSATSU」、滋賀レイクスによる「ダンス教室」を実施し、学校体育の充実を図ることができたため。
9	体験実践活動推進事業 【施策6】	学校政策推進課	○	新型コロナウイルス感染症により規模縮小となっていた「中学生チャレンジウィーク事業」を通常どおり実施することができ、生徒が職場体験等を通じて働くことの大切さと、自分の将来の生き方について考える機会を持つことができたため。
10	インクルーシブサポーター配置事業 【施策7】	児童生徒支援課	○	特別な教育支援を必要とする子どもの増加に伴い、障害にかかわらず地域で学ぶことができるよう、きめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図ることができたため。
11	医療的ケア支援員配置事業 【施策7】	児童生徒支援課	○	日常的にたんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要な児童に対し、きめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校給食材料購入事業 【施策5】	学校給食センター
小学校給食管理運営事業 【施策5】	学校給食センター
中学校給食材料購入事業 【施策5】	第二学校給食センター
中学校給食管理運営費 【施策5】	第二学校給食センター
児童就学援助費 【施策1】	学校教育課
生徒就学援助費 【施策1】	学校教育課
学校保健推進養護教諭配置事業 【施策5】	学校教育課
学校環境衛生管理事業 【施策5】	学校教育課
学校保健推進事務事業 【施策5】	学校教育課
校医等配置事業 【施策5】	学校教育課
児童・生徒等健康診断事業 【施策5】	学校教育課
中学校文化部活動推進事業 【施策6】	学校教育課
科学発表展覧会開催事業 【施策6】	学校教育課
就学時健康診断事業 【施策5】	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業 【施策1、7】	学校教育課
体験実践活動推進事業 【施策6】	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業 【施策1、7】	学校教育課
高校生等人権教育活動事業 【施策3】	児童生徒支援課
自主活動学級開設事業 【施策3】	児童生徒支援課
人権教育推進事業 【施策3】	児童生徒支援課
同和教育指導推進事業 【施策3】	児童生徒支援課
フリースクール利用支援事業 【施策4】	児童生徒支援課
教育支援委員会運営事務 【施策7】	児童生徒支援課
ことばの教室運営事業 【施策7】	児童生徒支援課
特別支援教育運営事業 【施策7】	児童生徒支援課
青少年美術展覧会開催事業 【施策6】	学校政策推進課
預かり保育事業 【施策1】	幼児課
幼稚園・認定こども園指導研修事業 【施策2】	幼児課
幼稚園・認定こども園保健推進事業 【施策2】	幼児課
私立幼稚園運営推進事業 【施策2】	幼児課
民間認定こども園運営事業 【施策2】	幼児課
認定こども園管理運営事業 【施策2】	幼児課
認定こども園運営支援事業 【施策2】	幼児施設課

■外部評価委員会での主な意見

・ヤングケアラーの問題が注目を集めましたが、子どもらの抱える困難はますます多様化・複雑化している。各担当課の連携および情報共有のもと、地域に密着した自治体である草津市ならではの取組に期待したい。
・いじめの問題については、日頃から注意喚起を行っていただくとともに、連携して向き合う体制づくりをお願いしたい。例えば、教職員の研修などを通じて、他の地域のいじめ事案や裁判事例なども参照しながら、いじめ問題に対する認識を深めていっていただくことを期待したい。
・不登校児童生徒の支援について、教育委員会が中心となって積極的に関係機関の連携をはかっていけるとよい。
・中学生になると社会全体への視野が広がり自分と比較して葛藤が生じると思うが、おおむね目標値に近づいているのは、学校現場における先生方の日々の努力の賜物と評価している。子どものここを認めてほしいという思いに先生方が気づいて、子どもの自己肯定感の高まりを大切にしてほしい。
・今後も不登校児童生徒が何らかの形で社会とつながりをもっていけるような一人ひとりに寄り添ったご支援をお願いしたい。
・人権同和教育研究大会について、今後も時のニーズに応じた展開をしていただきたい。
・運動そのものの楽しさを実感できる授業の工夫や生徒の体力技術の向上を意識した授業等、今後少しでも運動やスポーツの好きな子どもが増えていくことを期待したい。
・中学生のチャレンジウィーク事業は、将来の希望をもつことにもなり、自己肯定感を高めることにも繋がると思うので、今後もぜひ続けていただきたい。
・インクルーシブサポーターの配置や医療的ケア支援員の配置等によって、すべての子どもたちがよりよい教育を受けられるように引き続き取り組んでいただきたい。

基本方向	1．子どもの生きる力を育む
基本項目	2．確かな学力の育成
概　要	自ら学び、考え、行動する力を身に付け、多様で変化の激しい社会を生き抜く確かな学力の育成をめざし、草津市独自の学力向上策に取り組みます。また、学校では、各校の学力向上策を踏まえた取組に加え、ICT機器の効果的活用や検定事業、英語教育や読書活動等を推進し、子どもが主体となって、周囲と協働し学びを深める取組を推進します。また、家庭学習習慣の定着や学び方を身に付けるための支援等を通して、新しい時代を生きていくために必要となる基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童生徒の割合（%） 【全国学力・学習状況調査（対象：小学6年生、中学3年生）】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値（小6）	—	—	79.5	80.0	80.5	81.0	81.5
実績値（小6）	（※）78.2	（※）79	（※）77.2	（※）80.6	82.3	82.3	
目標値（中3）	—	—	74.0	74.5	75.0	75.5	76.0
実績値（中3）	（※）68.3	（※）73.6	（※）74.4	（※）82.2	77.9	77.9	

※R3年度までは「授業では、課題解決に向けて自分で考え、話し合う活動を通じて考えを深めることができていると思う」と答えた児童生徒の割合（%）

成果指標②	「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた児童生徒の割合（%） 【全国学力・学習状況調査（対象：小学6年生、中学3年生）】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値（小6）	—	—	71.0	71.5	72.0	72.5	73.0
実績値（小6）	68.5	70.5	73.2	78.5	75.4	72.6	
目標値（中3）	—	—	53.5	54.0	54.5	55.0	55.5
実績値（中3）	51.8	52.8	59.9	64.0	63.4	60.8	

成果指標③	「学校の授業時間以外に普段（平日）1日当たり1時間以上読書をしている」と答えた児童生徒の割合（%） 【全国学力・学習状況調査（対象：小学6年生、中学3年生）】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値（小6）	—	—	—	20.4	20.6	20.8	21.0
実績値（小6）	—	20.0	20.2	20.8	20.8	20.8	
目標値（中3）	—	—	—	11.8	12.0	12.2	12.4
実績値（中3）	—	8.5	11.6	12.5	13.0	13.0	

※令和2年度から全国学力・学習状況調査の質問項目が変更されており、上記の指標を参照する。

■達成度評価

ICT教育や英語教育をはじめとして、単元をとおして主体的・対話的で深い学びへの授業改善を行い、課題解決的な学びを推進し、解答に至るまでの考え方や自分の意見を効果的に伝えることに焦点をあてた授業実践を進めるとともに、読書活動の推進や、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、個別最適な学習への支援を行った。引き続き、全ての市立小中学校において、ICTを効果的に活用した授業改善や個別最適な学習への取組を徹底していく必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

番号	主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
1	学校ICT推進事業 【施策8】	学校政策推進課	○	ICT教育スーパーバイザー、ICT支援員による学校訪問や研修会を行った。ICT活用の使用頻度が上がるとともに、授業において効果的な活用を重ね、子どもたちの主体的・対話的で協働的な学びが進んできたため。
2	子ども読書活動推進事業 【施策9】	学校教育課	○	全小中学校に学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や図書資料を活用した授業の支援等を行い、学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動を推進することができたため。
3	子ども読書活動推進事業 【施策9】	生涯学習課	○	乳幼児健診時やすこやか訪問時に、家庭読書の啓発チラシを配布したほか、アートフェスタくさつにおいて「絵本のひろば」ブース設置や「とびだす絵本づくり」を実施するなど、子ども読書活動の啓発および推進を図ることができたため。
4	小1学びの基礎育成事業 【施策10】	児童生徒支援課	○	小学校14校において、タブレットPCを活用しながら、児童の読みの力を分析・把握し、一人一人の課題に応じた多層指導モデル（MIM）による「読み」の指導を行ったため。
5	英語教育推進事業 【施策11】	学校政策推進課	○	市内全小中学校におけるALTの巡回指導や小学校オンライン授業の実施、市内6小学校へのJTE派遣により、英語教育の充実を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
学校教育支援教員配置事業 【施策10】	学校教育課
授業充実加配教員配置事業 【施策10】	学校教育課
スクールESDくさつ推進事業 【施策10】	学校教育課
学びの教室開催事業 【施策10】	児童生徒支援課
学力向上重点事業 【施策11】	学校政策推進課

■外部評価委員会での主な意見

・学校図書館は、子どもの学習の基礎となる言語能力、情報活用能力等を身につけるため、重要な役割を果たしており、学校司書や司書教諭をきちんと各学校へ配置できるよう、引き続き予算措置等に努めていただきたい。
・子どものニーズに合わせた図書の選定とあわせて、身近な地域に関連する図書資料なども充実させていただきたい。
・成果指標が全て目標値を達成しているのは、各校の学力向上策に加えて、ICT教育や読書活動、授業改善等に力を注いでこられたこれまでの取組の成果があらわれていると考える。
・情報セキュリティや健康面の理解も深めながら、今後は児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、New草津型アクティブ・ラーニングが定着し、発展させていくような形が大事だと考える。
・保護者や地域のボランティアの方々が図書室の運営に関わってくださっている取組は、その方々の生涯学習にもなり、地元の子どもたちを把握していただいているという意味でも大変有効であると考える。
・学校の授業の中で日常的に友達と話し合う機会が設けられているのは、話し合いの中で考えを深められるいい機会だと考える。
・ICTを効果的に活用した授業改善や個別最適な学習への取組を徹底し、自分から計画を立てて勉強できるという子どもが増えていくことを期待したい。
・移動図書館が小学校に来たり、読書のポイントカードの実施等、引き続き子どもが本に触れる環境を作っていただきたい。

基本方向２「学校の教育力を高める」

基本方向	2．学校の教育力を高める
基本項目	3．教職員の指導力の向上
概　要	教職員の研修プログラムや研究活動の充実に取り組み、よりよい授業が行えるよう教職員の指導力の向上をめざします。また、そのために必要となる時間の確保と有効な活用ができるよう、教職員の健康管理や働き方改革に取り組み、職場環境の改善もめざしていきます。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	「自分なりの課題をもって自己研修に努めている（1(低)～5(高)の5段階評価）」の平均値 【学校運営協議会における学校評価】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	4.1	4.1	4.2	4.2	4.3
実績値	—	3.9	3.6	3.8	3.9	3.8	

成果指標②	「会議時間の短縮、行事の精選や実施方法の見直し、校務のICT化等を推進し、積極的に業務の改善や効率化に取り組んでいる（1(低)～5(高)の5段階評価）」の平均値 【学校運営協議会における学校評価】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0
実績値	—	（※）3.7	（※）3.7	（※）3.7	3.4	3.4	

※R3年度までは「ワーク・ライフ・バランスを意識している（1(低)～5(高)の5段階評価）」の平均値

■達成度評価

各種研修講座やスキルアップアドバイザーの派遣等の施策を実施するとともに、校内OJTの充実等、学校現場の課題に即した学びの場を作り、教職員の指導力の向上を図っているが、教職員のさらなる資質の向上のため継続した取組が必要である。また、働き方改革については、平成29年度に策定した「学校業務改善プラン」を全面的に見直し、令和6年度から新たな「学校における働き方改革推進計画」に基づき、業務改善を進めることとした。

■施策に含まれる主要事業一覧

番号	主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
1	教職員研修事業 【施策12、13】	学校教育課	○	学力向上マネジメント会議や経験年数に応じた研修会、各種事業での授業研究会、講演会等を多く行い、研修を通して実践力を高められたため。
2	講座開設事業 【施策12、13】	教育研究所	○	今日的な課題解決を目指し、教職員のさらなる指導力向上につながる研修を実施することができたため。
3	スキルアップアドバイザー配置事業 【施策12、13】	教育研究所	○	各学校のニーズに応じてアドバイザーの派遣を行い、教員の資質向上に関する支援を行うことができたため。
4	スクール・サポート・スタッフ配置事業 【施策14】	学校教育課	○	児童の家庭学習を充実させたり、学校での学習支援を行ったりすることで学力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進につながったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育調査研究事業 【施策12】	教育研究所
教育研究所指導員配置事業 【施策12、13】	教育研究所
教育研究所運営事務 【施策12、13】	教育研究所

■外部評価委員会での主な意見

・教員の働き方の実態把握に努め、休職者について効果的な支援をお願いしたい。
・教員の業務負担軽減を推し進めることで、教員が自らの課題に向き合える時間的精神的余裕を確保するとともに、改めて教員のニーズに応える多様な研修プログラムの整備に努めていただきたい。
・働かない改革ではなく、さらに子どもたちと向き合う時間を確保できるよう新たな「学校における働き方改革推進計画」に基づいて教職員の意識改革が進むことを望んでいる。
・研修で学んだことをどう生かすのか、どう生かせたのかというところが大切だと考える。学び続けること、自己研鑽していくことは非常に大切だと考える。
・教職員の健康面についても、専門機関と連携し、一人ひとりに寄り添った対応をお願いしたい。

基本方向	2．学校の教育力を高める
基本項目	4．学校経営の充実
概　　要	特色ある教育課程の実施や、地域の活力を生かした取組を推進することで、学校経営の充実をめざします。また、様々な教育課題に対応していくために、教職員の指導体制や学校を支援する体制の充実を図ります。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	「学校不適応や不登校などの教育課題について、関係機関とも連携を図りながら学校組織として取り組んでいる（1(低)～5(高)の5段階評価）」の平均値 【学校運営協議会における学校評価】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0
実績値	（※）3.7	（※）3.9	（※）4.0	（※）4.3	4.1	4.2	

※R3までは「学校目標に向かって教職員一人ひとりが実践を進め、組織として機能している（1(低)～5(高)の5段階評価）」の平均値

成果指標②	「コミュニティ・スクールくさつの推進を通して学校運営の充実を図るとともに、「スクールESDくさつ」プロジェクトや地域協働合校の理念を踏まえた取組を行い、保護者や地域住民への積極的な情報発信ができている（1(低)～5(高)の5段階評価）」の平均値 【学校運営協議会における学校評価】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8
実績値	（※）4.5	（※）4.4	（※）4.2	（※）4.1	4.0	4.3	

※R3までは「保護者や地域住民への積極的な情報発信ができている（1(低)～5(高)の5段階評価）」の平均値

■達成度評価

教職員が、課題に対して組織的に対応する体制づくりが進んでいる。新型コロナウィルス感染症の警戒レベルが下がり、通常の学校生活に戻った中で、適切な教育活動を実施し、児童生徒へ的確な支援をするため適材適所の人材配置や効果的な連携の仕方についてさらに検討を進める必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

番号	主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
1	コミュニティ・スクールくさつ推進事業 【施策15】	学校政策推進課	○	全小中学校に導入しているコミュニティ・スクールについては、学校、保護者、地域の組織的かつ継続的な連携と協働体制を確立し、協議内容を熟議する意識が進んだ。また、ESD推進のため、地域連携を進めることができたため。
2	スクールESDくさつ推進事業 【施策15】	学校教育課	○	令和6年度の全校実施に向けて、小中学校の担当者による学ぶ力向上マネジメント会議を開催することで、各校のスクールESDに関する理解が深まり実践が充実したため。 また、モデル校3校で先進的事例の開発・検証を行い、報告会では、モデル校の成果を全小中学校に伝えることができたため。
3	スクール・サポート・スタッフ配置事業（再掲） 【施策16】	学校教育課	○	児童の家庭学習を充実させたり、学校での学習支援を行ったりすることで学力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進につながったため。
4	学校問題サポートチーム運営事業 【施策16】	教育研究所	○	学校での対応困難なケースについて、専門家から適切なアドバイスを提供することで、事態の改善に向け具体的な指導や支援を行ったため。
5	教室アシスタント配置事業 【施策16】	児童生徒支援課	○	小学1年生全てのクラス等に教室アシスタントを配置し、児童生徒へのきめ細やかな支援を行うことで、安心して学校生活を送ることができたため。
6	中学校生徒指導主事活動推進事業 【施策17】	児童生徒支援課	○	児童生徒の問題行動等の未然防止および早期発見・早期解消に向け、学校を中心とした取組を充実させるとともに、関係機関等との連携や啓発活動を行うことができたため。
7	学校問題相談支援事業 【施策17】	児童生徒支援課	○	学校不適応や不登校等の児童生徒が抱える課題があるため、スクールソーシャルワーカーの派遣を行い、様々な学校問題の解決と円滑な学校運営を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学事管理事務 【施策16】	学校教育課
学校運営支援事業 【施策16】	学校教育課
学校基本調査事務 【施策16】	学校教育課
通学区域管理事務 【施策16】	学校教育課
学生ボランティア派遣事業 【施策16】	学校教育課
学校支援対策充実事業 【施策16】	児童生徒支援課
外国人児童生徒教育支援事業 【施策17】	児童生徒支援課
児童生徒支援事務 【施策17】	児童生徒支援課
児童通学支援事業 【施策17】	児童生徒支援課
学校運営支援事業 【施策16】	学校政策推進課
学校運営支援事業 【施策16】	教育研究所
やまびこ教育相談室運営事業 【施策17】	教育研究所

■外部評価委員会での主な意見

・教室アシスタント事業や学校ボランティア派遣事業など、教職員に対する業務支援に関わる取組は引き続き進めていただきたい。適正な人選に努めていただくとともに、教職員と効果的に連携できるよう、教育委員会として指導・支援に努めていただきたい。 ・外国人児童生徒教育支援事業については、通訳や翻訳の業務等を通して適切な支援を行っておられると高く評価する。「やさしい日本語」の活用等を含め、引き続きわかりやすい情報発信に取り組んでいただきたい。 ・学校運営協議会について、職員の皆様が会議を傍聴し、協議会の空気を感じていただくことも必要ではないかと考える。地域の特色を生かし、小中の密接な連携という観点から小中連携型の学校運営協議会を設置するという新たなモデルの誕生を期待している。 ・スクールESDくさつは、本市独自の素晴らしい取組であると評価している。教職員自ら楽しんで学習を組み立てるとともに、さらなる情報発信を期待したい。 ・中学校の生徒指導主事の活動に対して、力を注いでいただいており、これは草津市の特徴でもあると思う。さらに成果と課題を整理し、次年度につなげていっていただきたい。

基本方向	2. 学校の教育力を高める
基本項目	5. 教育環境の充実
概　要	安全・安心な学校環境を確保するため、老朽校舎の改修や非構造部材の耐震化等の施設整備を進めるとともに、学習教材等の充実を進めることで、教育力向上につながる環境整備の充実をめざします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	非構造部材の耐震化工事実施校の割合（%）						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0
実績値	55.0	65.0	65.0	65.0	70.0	70.0	

■達成度評価

計画どおり工事を実施し、非構造部材の耐震対策が図られた。
※非構造部材の耐震化工事について、学校負担を最低限なものにするため、1校あたり2か年をかけて改修している状況である。

■施策に含まれる主要事業一覧

番号	主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
1	小学校大規模改造事業【施策18】	教育総務課	○	計画どおりトイレの改修を実施することができたため。
2	中学校大規模改造事業【施策18】	教育総務課	○	計画どおりグラウンドの改修を実施することができたため。
3	校務情報化推進事業【施策19】	学校政策推進課	○	校務用コンピュータの維持管理を行い、校務支援システムの運用および学校・保護者・地域間の情報共有アプリ、学校ホームページへのCMSの導入により、校務の効率化を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校管理運営事業 【施策18】	教育総務課
小学校施設維持管理事業 【施策18】	教育総務課
中学校管理運営事業 【施策18】	教育総務課
中学校施設維持管理事業 【施策18】	教育総務課
中学校校舎等整備事業 【施策18】	教育総務課
小学校教育教材整備事業 【施策19】	教育総務課
中学校教育教材整備事業 【施策19】	教育総務課

■外部評価委員会での主な意見

・児童生徒が学校で安全に安心して学ぶため、必要な学校施設の整備に計画的かつ継続的に取り組んでいただきたい。
・定期的な施設点検の呼びかけだけでなく、各学校に対して、都度都度、実施体制や点検マニュアルの見直しなど、適切にご指導いただきたい。
・アプリを導入することで保護者の利便性も大事だが、現場の先生方の負担がより一層軽減することを期待する。

基本方向３「社会全体で学びを進める」

基本方向	３．社会全体で学びを進める
基本項目	６．家庭・地域での学びの充実
概　要	子どもを育てる基礎となる家庭での教育について、保護者に対する情報提供や学習機会を充実させるなどの取組を進めます。また、地域協働合校の推進などにより、地域の大人が子どもの学びを支えるとともに、大人にとってもやりがいのある交流の機会となるようにします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	地域協働合校の推進に満足している市民の割合（%） 【草津市のまちづくりについての市民意識調査】（R5回答数：920件）						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	21.5	22.0	22.0	22.5	22.5
実績値	21.4	21.8	21.5	16.9	17.2	16.5	

成果指標②	「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をする」と答えた児童生徒の割合（%） 【学びのアンケート調査（草津市教育委員会実施）】						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値（小）	—	—	—	—	85.0	85.5	86.0
実績値（小）	—	—	80.0	82.9	80.0	85.5	
目標値（中）	—	—	—	—	75.0	75.5	76.0
実績値（中）	—	—	76.9	73.2	75.6	80.2	

※令和３年度から上記の成果指標に変更する。

■達成度評価

地域協働合校では、学校・地域・家庭が協働して地域の人材や資源を積極的に活用し、子どもと大人が多種多様な活動を市内全小中学校において実施し、様々な経験や知識を持った地域の大人との交流を通じて、子どもの豊かな心の成長や大人自身のやりがいに繋げることができたとともに、地域課題型の取組を進めることにより、地域社会の創り手の育成の一助となった。しかしながら、「地域協働合校の推進に満足している市民の割合」について「どちらでもない」と回答された方が上昇しており、活動を知らない人や関心のない層が増加傾向にあると考えられるため、今後、広報活動や地域人材の育成等に努める。
また、地域・学校・関係機関の連携により、青少年の健全育成活動に取り組み、青少年がたくましく生きることができる環境整備をすることができた。また、少年センターにおいて、非行からの立ち直り支援を実施し、青少年の自立を後押しすることができた。

■施策に含まれる主要事業一覧

番号	主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
1	地域ぐるみの学校安全推進事業 【施策20】	学校教育課	○	児童の登下校を見守るスクールガードに対して必要な物品の支給などの援助を行うことで、地域と連携した防犯対策に取り組み、子どもの安全・安心の確保が図れたため。
2	家庭教育推進事業 【施策21】	生涯学習課	○	家庭での子どものよりよい生活習慣等の形成や保護者のニーズにあった家庭教育支援のため、市内PTA等への支援や学校や市関係施設において家庭教育に関連する講座を開催することで、家庭での教育力を高めることができたため。
3	青少年育成活動事業 【施策22】	子ども家庭・若者課	○	青少年の主張発表大会、青少年育成大会を草津市青少年育成市民会議と共同して開催し、青少年の健全育成について推進できたため。
4	少年センター管理運営事業 【施策22】	子ども家庭・若者課	○	少年やその家族等からの相談に応じるとともに、少年補導委員や警察、学校等と協力しながら、街頭補導等の活動を地域一体となって実施することができたため。
5	地域協働合校推進事業 【施策23】	生涯学習課	○	学校と地域の連携による地域課題解決型の体験学習の事業を実施することで、持続可能な社会を考える機会や地域への愛着を育む環境学習を実施することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学校災害賠償補償保険事務 【施策20】	学校教育課
児童・生徒安全対策事業 【施策20】	学校教育課
通学路対策事業 【施策20】	学校教育課
日本スポーツ振興センター負担金事務 【施策20】	学校教育課

■外部評価委員会での主な意見

・地域協働合校については、具体的な企画の段階から、将来的に地域を担う若者などが参加できる仕組みづくりも重要であると考える。
・家庭教育に関連する保護者向けの講座については、平日夕方以降の開催など、多くの方々が気軽に参加できるような日程・場所の設定も必要ではないか。
・家庭教育推進事業については、家庭教育支援チームをつくり、家庭教育に関して身近に話を聞いてもらったり、相談したりできる訪問型の取組が必要ではないかと考える。家庭教育に関する活動をされている団体をつなげることが教育委員会の役割でもあると考える。
・地域協働合校の中身を理解いただけるように、地域学校協働活動推進員からの発信やスクールESDくさつプロジェクトにおける小・中学校からの発信も有効であると考える。
・地域と交流しながら学んでいけるまち探検は、引き続き進めていただきたい。

基本方向	３．社会全体で学びを進める
基本項目	７．生涯学習・スポーツの充実
概　要	誰もが、生涯にわたって、いつでも、どこでも学び、子どもの教育や地域の活動において、成果を生かすことができるような生涯学習機会の充実を図ります。また、スポーツを身近に感じ、楽しめるよう生涯スポーツや競技スポーツに関する取組の充実をめざすとともに、令和6年（２０２４）年開催予定の第７９回国民スポーツ大会および第２４回全国障害者スポーツ大会に向けた取組を推進します。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	生涯学習・スポーツの充実に満足している市民の割合（％） 【草津市のまちづくりについての市民意識調査】（R5回答数：920件）						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5
実績値	23.7	27.1	24.8	24.3	23.5	25.4	

成果指標②	図書館利用者の満足度（％） 【図書館利用者アンケート】（R5回答数：1,016件）						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0
実績値	56.1	60.0	75.6	78.3	72.4	79.3	

成果指標③	社会体育施設利用者の満足度（％） 【社会体育施設利用者アンケート】（R5回答数：586件）						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	71.0	72.0	73.0	74.0	75.0
実績値	66.8	72.2	72.5	72.9	71.9	72.6	

■達成度評価

「立命館びわこ講座」は、対面での講座実施およびオンデマンド配信を実施し、市民の学習機会の確保に務めた結果、令和4年度よりも受講者数が増加した。
図書館においては、本館開館40周年を契機に読書のまち推進事業を実施するとともに、既存の各種事業も行い、市全域での図書館サービスの充実に努めた結果、読書機会の創出に繋がった。
また、各社会体育施設の適切な維持管理・運営、計画的な修繕等を行うことで、スポーツ環境の充実につなげることができた。

■施策に含まれる主要事業一覧

番号	主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
1	社会教育推進事業 【施策24】	生涯学習課	○	市民への学習機会の提供することを目的に、立命館大学と連携し、「立命館びわこ講座」を実施できたため。 また、学びの地域支援講座において社会参画の意識醸成につなげることができたため。
2	学習ボランティア推進事業 【施策24】	生涯学習課	○	「ゆうゆうびとバンク」の冊子とリーフレットを発行し、学習ボランティアの活用の推進を図ることができたため。
3	図書館運営事業 【施策24】	図書館	○	本館40周年を契機とした「読書のまち推進事業」において、児童書や児童コーナーのリニューアル、記念講演会の開催、小型移動図書館の導入と小学校巡回、本館の読書スペースの改善、就学前施設との連携、図書館アプリの導入、学習スペースの設置等を実施した結果、図書館利用の促進につなげることができため。
4	南草津図書館運営事業 【施策24】	南草津図書館	○	
5	地域協働合校推進事業（再掲） 【施策25】	生涯学習課	○	学校と地域の連携による地域課題解決型の体験学習の事業を実施することで、持続可能な社会を考える機会や地域への愛着を育む環境学習を実施することができたため。
6	学校体育施設開放推進事業 【施策26】	スポーツ推進課	○	利用者との連絡調整など、適切な管理運営を行うことで、市民が身近でスポーツに親しむことのできる環境を提供することができたため。
7	市民体育大会開催費補助事業 【施策26、27】	スポーツ推進課	○	市民スポーツ大会の開催を通じ、市民が競技スポーツに取り組むとともに、身近に応援や観戦の機会を設けることができたため。
8	県民体育大会等出場支援補助事業 【施策26、27】	スポーツ推進課	○	県民スポーツ大会出場に対する支援を行い、市民の競技力向上につなげることができたため。
9	社会体育施設管理運営事業 【施策28】	スポーツ推進課	○	計画的な修繕等、適切な維持管理を行うとともに、利用者アンケートの結果を踏まえて改善等を行うことができたため。
10	大規模大会開催事業 【施策29】	国スポ・障スポ推進室	○	わたSHIGA輝く国スポ・障スポの開催に向けて大会開催推進総合計画や各種基本計画を策定し、草津市実行委員会の総会・常任委員会・専門委員会を開催することで、多様な主体とさらなる連携強化や協働推進に繋げることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
図書館施設管理事業 【施策24】	図書館
南草津図書館施設管理事業 【施策24】	南草津図書館
総合型地域スポーツクラブ補助事業 【施策26】	スポーツ推進課
チャレンジスポーツデー開催費補助金事務 【施策26】	スポーツ推進課
駅伝競走大会開催費補助金事務 【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ協会事業費補助金事務 【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ少年団育成事業 【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ推進委員活動推進事業 【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ推進計画事業 【施策26、27】	スポーツ推進課
スポーツ推進審議会運営事業 【施策26、27】	スポーツ推進課
各種スポーツ団体活動支援事業 【施策26、27】	スポーツ推進課
各種大会負担金事務 【施策26、27】	スポーツ推進課
各種大会補助金事務 【施策26、27】	スポーツ推進課
各種大会出場者激励事業 【施策27】	スポーツ推進課

■外部評価委員会での主な意見

・スポーツの振興に努めていただくとともに、特定の競技や特定の活動団体への支援にとどまっていないか、あるいは特定の施設の整備に偏ってないか、常に公平性の観点から検証を行っていただきたい。
・公園や公共施設の利用ルールを再検証いただき、ルールの見直しやルールの徹底などを通して、誰もが利用しやすい施設環境を整えていただきたい。その際には、施設を利用する子どもらの意見も重要になると思われる。
・魅力ある図書の選定や閲覧しやすい環境整備に努めていただきたい。また、市民の方々のニーズとのマッチングが適切かどうかも合わせてご検討いただきたい。
・する人・観る人・支える人という人を重視した新しいスポーツ文化の確立が必要であると考える。
・いつでもどこでも誰もが継続的にスポーツに親しめる環境づくりは必須であると考える。
・ゆうゆうびとバンクについては、形骸化しないよう積極的な人材登録、そして有効な人材活用をお願いしたい。
・社会体育施設については、施設の方には適切な運営管理に努めていただきたい。
・誰もがスポーツを身近に感じ、楽しめるような環境整備を切に願っている。

基本方向４「歴史と文化を守り育てる」

基本方向	４．歴史と文化を守り育てる
基本項目	８．文化・芸術の振興
概　要	文化・芸術活動の支援と各種事業の充実や、担い手の育成支援を通して、誰もが文化に触れることができる機会の充実をめざします。また、文化の力によって都市の魅力を高めることをめざします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合（%） 【草津市のまちづくりについての市民意識調査】（R5回答数：920件）						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0
実績値	21.6	21.2	21.2	21.8	23.5	24.3	

■達成度評価

アートフェスタくさつ、キッズシネマ塾、アートフルール、俳句入門講座など、文化振興計画に基づき新規事業を含めた各種事業を展開し、市民が文化に触れる機会を創出することで文化の振興を図れた。今後、老朽化していく文化施設について適切な維持管理を行っていく必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

番号	主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
1	市美術展覧会開催事業 【施策30】	生涯学習課	○	市美術展覧会を開催し、市民に発表・鑑賞の機会を提供できたため。
2	市民文化芸術活動支援事業 【施策30】	生涯学習課	○	アートフェスタくさつやキッズシネマ塾、未就学児に向けたアートフルールを開催し、産官民の協働による文化振興に取り組むことができたため。
3	俳句のまちづくり事業 【施策30】	生涯学習課	○	青少年俳句大会やふるさと草津俳句会の開催、俳句入門講座の再開で、市民が俳句に親しむ機会を提供できたため。
4	文化ホール管理運営事業 【施策31】	生涯学習課	○	文化活動の拠点施設として、指定管理者による適切な施設管理を行い、文化事業を展開できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
三ツ池計画予定地管理事業 【施策31】	生涯学習課

■外部評価委員会での主な意見

・市民の方々が文化芸術に親しむ機会を幅広く提供いただくため、引き続きしっかりと予算措置を講じていただきたい。
・特定の市民グループの活動に対する支援にとどまっていないか、常に公平性の観点から検証を行っていただきたい。
・他市町村の取組状況なども参考にしながら、これまでほとんど活動に参加されたことのない層への働きかけにも努めていただきたい。
・成果指標①について実績値が伸びているということは、美術展覧会や青少年俳句大会等様々な事業を展開いただいている成果があらわれていると考える。
・多世代の交流、教育現場における教科横断型の学習を通した取組が文化芸術の伝承につながっていくと考える。

基本方向	4．歴史と文化を守り育てる
基本項目	9．文化財の保存と活用
概　要	本市の歴史文化の特徴を後世に守り伝えるため、適切な保存を図るとともに、市民が地域の歴史に触れる機会づくりに努め、地域主体による保存・活用の機運の向上や歴史文化を活用した草津らしいまちづくりをめざします。

■成果指標の目標と実績

成果指標①	文化財指定件数（件）						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	95	95	96	96	97
実績値	94	94	94	94	94	94	

成果指標②	史跡草津宿本陣・草津街道交流館の年間入館者数（人）						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	34,200	34,500	34,500	34,500	34,500
実績値	33,072	33,994	12,454	18,544	25,471	26,352	

■達成度評価

発掘調査の件数が多いなか、計画的に調査事業を実施し、遺跡の実態を適正に記録保持することができた。また、国指定史跡の整備や文化財保存事業に対する補助金の交付などを計画的に実施し、文化財保護の推進を図ることができた。
草津市文化財保存活用地域計画に基づく事業進捗を図りつつ、地域の文化財に興味関心をもてるような取組を実施することができた。未指定文化財の調査を年度末に実施したところ「指定に足る」との結果が出たため、指定に向けた調整を進める必要がある。
昨年度と比較しHPやSNS等による情報発信に力を入れ、情報発信件数を増加させた結果、コロナ前に設定した入館者数の目標値には届かなかったが、昨年度より増加し一定の回復をみた。

■施策に含まれる主要事業一覧

番号	主要事業	担当課	成果達成度	達成度評価理由
1	埋蔵文化財発掘調査事業 【施策32】	歴史文化財課	○	試掘、本発掘調査ともに計画どおり実施でき、遺跡の実態を適正に記録保持することができたため。
2	宅地開発等関連遺跡発掘調査事業 【施策32】	歴史文化財課	○	開発等に伴う発掘調査及び整理業務を計画どおり進め、遺跡の実態を適正に記録保持することができたため。
3	史跡草津宿本陣整備事業 【施策32】	歴史文化財課	○	国庫補助の範囲内で、計画どおり整備進捗を図ることができたため。
4	文化財保護助成事業 【施策32】	歴史文化財課	○	所有者に対し適正に保護助成を行うことで、文化財の保存管理、育成、活用を図ることができたため。
5	史跡芦浦観音寺跡整備事業 【施策32】	歴史文化財課	○	国庫補助の範囲内で、計画どおり整備進捗を図ることができたため。
6	文化財普及啓発事業 【施策33】	歴史文化財課	○	文化財を活用した取組を実施し、ふるさと意識の醸成に繋げることができたため。
7	史跡草津宿本陣管理事業 【施策34】	草津宿街道交流館	○	目標としていた年間入館者数は下回ったが、草津の歴史文化の魅力発信に力を入れた結果、情報発信件数を増やせたため。
8	草津宿街道交流館運営事業 【施策34】	草津宿街道交流館	○	目標としていた年間入館者数は下回ったが、草津の歴史文化の魅力発信に力を入れた結果、情報発信件数を増やせたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
歴史資料管理事業 【施策32】	歴史文化財課
文化財保護推進事業 【施策32】	歴史文化財課
未指定文化財調査事業 【施策32】	歴史文化財課
文化財保護審議会運営事業 【施策32】	歴史文化財課
重要文化財整備助成事業 【施策32、33】	歴史文化財課
史跡野路小野山製鉄遺跡整備事業 【施策32、33】	歴史文化財課

■外部評価委員会での主な意見

・引き続き、積極的な情報発信に向けた取組に期待したい。
・歴史的なつながりのある他市町村との連携事業についても検討していただきたい。
・地域の歴史がうかがえる資料活用の方法などを、教員の研修などで取り上げていただいてはどうか。教員の専門性の向上や子どもにとっての地域に根差した深い学びにつながっていくのではないかと考える。
・教育委員会が地域の方との繋がりを大切にし、地域主体による保存・活用等が持続的に行われるよう取り組んでいただきたい。
・スクールESDくさつの取組に対して、様々な面でご支援いただいていることで、子どもたちの草津の歴史や文化への興味・関心が高まっていると考えている。